

田麦山地域おこしの会

2004年に発生した中越大地震で家屋の90%以上が全壊という大きな被害を受けた川口地域にある田麦山地区。地域存続の危機感から2012年に地域資源を活かした地域づくりを本格スタートさせました。集まった住民有志の特技や趣味、つながりを企画の中心に置き、持続可能な地域づくりに取り組んでいます。



大淵公男さん

課題① 団体として活動していく中で、大きなイベントをメンバーみんなで開催していくことは、負担が大きく難しさを感じていました。無理なく、みんなが楽しい範囲でできる活動はどうしたらいいか模索していました。

アクション① 地域資源の洗い出しをみんなでを行い、団体として大事にしていきたいことを共有した上で、1人1人の興味や特技を生かした活動をしよう話し合いました。料理上手なお母さん達は「キッチン」の会として山菜やきのこのバイキングイベントを開催。踊り好きは、伝統文化のはねおけさを復活させ、慰問先で披露しています。



課題② 地域づくりの成果はすぐに見えないとはよく言われること。でも活動を重ねる中で、やりたい気持ちと継続のモチベーションのバランスが崩れ、活動のマンネリ化が課題に。

アクション② 植物好きなメンバーが集まる「なでしこの会」は、道路近くに大きな花壇をつくり、今では井戸端会議の場にもなっています。毎年、長岡市花いっぱいコンクールに参加することが、小さな達成感を感じられる機会です。工夫を凝らした花壇づくりをして優秀賞を受賞したことも、また、ことあるごとに反省会をしていることも前向きに活動に取り組める秘訣です。外からの声やメンバー内での感想を共有することで、「やってよかったね」「今度はこれやってみたいね」と次につながる大切な時間になっています。

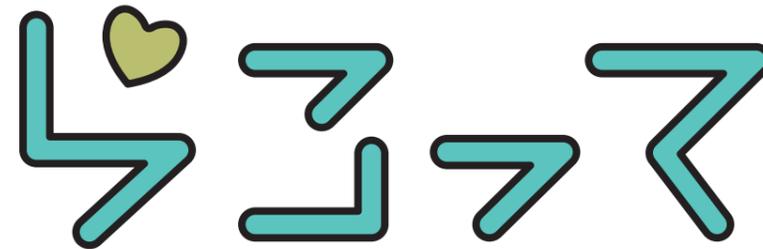


成果と今後の目標

メンバーの得意や好きを活動に取り込み、料理を提供する「キッチン」の会」と、園芸を楽しむ「なでしこの会」他にも、おどりや情報発信、野鳥観察の会の5つの部会ができました。

活動の振り返りを反省会などで共有することで、成果が認識でき、モチベーションを保つことができている。メンバーの声から新たな企画も始動しました。

地域活動は楽しくないと続きません。継続には、夢を持つことも大切！地域おこし協力隊の受け入れもしてみたいですね！



Racotte vol.65
発行 ● ながおか市民協働センター



interview

金井ふく子さん

「あったらいいな」を実現させていく行動派美容師



ロボット工作を通して
子どもの将来を拓く、まちの先生

櫻井浩一さん



私たちは〇〇ができます！

長岡には様々なノウハウやスキルをもつ市民団体がたくさん！
困りごと、協力してほしいことはありませんか？
私たちが力になりますよ！

団体① 「ATC(アルプス電気卓球クラブ)」は、子どもたちへ普段できない遊びや体験を提供できます！

普段は卓球クラブとして活動していますが、楽しい体験を通して絆を深めて欲しいとの気持ちから、卓球の枠を超えて竹水鉄砲作りやラート体験など多種多様な楽しい体験を主に小学生向けに提供しています。



団体② 「KAWA ROCK」は、イベントにライブ出演できます！

「音楽でまちを元気に！」を合言葉に、川口地域で音楽イベントを開催していますが、お声掛け頂ければ出張ライブでイベントを盛り上げます！出演者と来場者が地域や世代を超えて交流し、地域が活性化することを目指しています。



センターからのお知らせ

まずは相談してみよう！
市民活動推進事業補助金

申請・相談は
随時受付

市民活動団体などが実施する公益性のある活動や、イベント経費の一部を補助する「長岡市市民活動推進事業補助金」。ただいま申請受付中です！企画や申請内容のご相談には随時対応いたします。やってみたい企画をお持ちの方は、構想段階でも大丈夫ですので、まずはながおか市民協働センターへご相談ください。

補助金額	20万円まで	20万円を超える部分
補助対象経費について	全額	80%

※上限額100万円

昨年度実績

-事業数-
56事業
-補助総額-
1,258万円



●補助金を活用してミニSL体験会、田植え体験会などを開催しました。



ながおか市民協働センターは、地域をより良くする市民の活動が集まる拠点です。協働センターのwebサイト「コライト」では、市民が行うイベントや助成金などの情報を幅広く掲載しています。らこらでのバックナンバーも閲覧できます。ぜひご覧ください。

らこら 2018.5.1 (vol.65) FREE 【発行】ながおか市民協働センター
〒940-0062 長岡市大手通1丁目4番地10 シティホールプラザアオーレ長岡 西棟3F
Tel.0258-39-2020 Fax.0258-39-2900 Mail. kyodo-c@ao-re.jp http://nkyod.org
配布場所 長岡市役所及び各支所、サービスセンターの他、市内図書館、コミセン、子育ての駅等、公共施設に設置しています。

毎週月曜日17時頃から放送中！
つながるラジオ
FMながおか 80.7MHz
ながおかの市民活動紹介番組 | 放送時間 10分程度 第5日曜日を除く

●活動PickUp!

- ・特定非営利活動法人長岡産業活性化協会NAZE
- ・Heartful music
- ・新町みんな食堂
- ・ナカムコーヒーロースターズ/地域づくり団体へのスキル提供

●市民活動・虎の巻

- ・団体メンバーのモチベーションの維持『田麦山地域おこしの会』
- 私たちは〇〇ができます！
- ・ATC(アルプス電気卓球クラブ)
- ・KAWA ROCK

地域をよくするウワサのあの人にインタビュー!

活動に込める気持ち、これまでのいきさつ、組織での役割……。根掘り葉掘りお聞きしました。



金井ふく子さん〈60歳／自営業〉まちの駅「たちばな」、越路観光協会、越路もみじの会

みんなが安らげる場所を提供
稼業とは違う視点からのまちづくり

誰でも気軽に立ち寄って休憩したり、地域の情報などを手に入れられる「まちの駅」。金井さんは、越路地域で自営業の傍らまちの駅を開設する一人です。また、春と秋には人気観光スポット『もみじ園』で観光協会として茶屋を開き、訪れる方たちに癒しの場も提供しています。

小さい頃からの夢だった美容師になるため長岡市にやってきた金井さん。夢を叶え、実力もついてきた頃、海外旅行で偶然出会った旧越路町出身のご主人と結婚し、越路地域で美容室を開くことに。「はじめて訪れた越路町は今よりも少し寂しいまちに見えました」と話す金井さんが、現在の活動を始めるに至ったのは2つの地域の人との縁がありました。

1つは歯医者帰りのおばあちゃんとの出会い。「暑かった夏、電話を借りて来たおば

あちゃんと1時間ほどお茶を飲みながら話をしました。その時、この通りには日陰や雨除けになる雁木もないし、休憩できるお店もない気が付いたんです。そこから自分で調べ『まちの駅』を知り、美容室をしながら始めてみることに。今では地域の人同士がつながる貴重な場となっています。

もう1つのご縁は、「もみじ園でお茶でも提供してみないか」と声をかけられたこと。昔からもみじ園が大好きでしたが、行くたびに温かい飲み物が飲めるスペースがあればいいのと思っていたため、二つ返事で引き受けました。「茶屋を始めて私自身も越路がもっと好きになりました。来てくれる人にも越路を好きになってもらえたら嬉しい。張り切りすぎず、細く長く続けていきたいです」。明るく気さくな金井さんを起点に、これから人の輪が広がっていくことでしょう。



●上：響き良かったことから旧姓を使用した美容室兼まちの駅。看板の字体がお気に入りです。●左下：自転車で行っていた外国人を暑さから救出。誰にでも気軽に声をかけるのが得意な金井さん。●右下：大好きなもみじ園で春と秋のイベント時には蔵を改装した茶屋で活躍中です。

profile

- 1957年 魚沼市生まれ。叔母に憧れ美容師を志す。
- 1972年 長岡市の美容室に就職。資格取得後、店長を担うまでに。
- 1982年 結婚を機に旧越路町に転居し、翌々年にお店を開業。子育てをしながら仕事に勤しむ毎日を送る。
- 2010年 越路もみじ園にて茶屋をスタート。
- 2014年 道行く地域の人に気軽に寄ってもらえるお店を目指し、「まちの駅」を始める。お店を起点に人の輪が広がっている。

活動の根っこ

あきらめを
行動に!!
金井ふく子



櫻井浩一さん〈50歳／会社員〉NPOキメキラボ

やってみないと分からない!
市民活動で得た学びを子どもたちにも伝えたくて

「NPOキメキラボ」の一員として、小学生向けロボット工作教室やロボット大会の運営補助活動に取り組む櫻井さん。趣味のロボットアニメ鑑賞がきっかけで、誘いを受けて活動を手伝うようになりました。「ロボットはつくるより観る方が好きだったんだけど…」と当初は戸惑いながらも活動に顔を出すにつれ、次第にのめり込むように。「勝つために工夫を凝らしたロボットにはいつも『よく考えたなあ』と感心させられます」。

自身を「根っからの人見知り」だと言う櫻井さんは、就職を機に長岡で暮らし始めても、なかなか交友の輪を広げられずにいました。しかし、活動を始めて以来、ロボット工作を通じて様々な人と知り合うように。「普段の仕事や生活だけでは交わらない方々と出会えることは貴重です。まるでその人を通して自分の中の世界が広がるような感覚」と話され

ますが、実は初対面のコミュニケーションは今も得意ではないそう。それでも最近では「自分にとって何が楽しいか、何がいい経験となるかはやってみないと分からない。何事もまずはチャレンジ!」と舞い込んできた話は積極的に乗るようになっています。

そんな櫻井さんが活動を通して、特に気を付けているのは「子どもの自主性を促す」ということ。「大人が手取り足取り手伝う方が完成は早いですが、それでは誰が作ったか分かりません。子どもたちが『自分で作った』という意識が大切。その積み重ねが次もやってみようという、子どものチャレンジ精神を育てるのだと思います」。自分自身が市民活動を通して感じた何事もやってみる姿勢の大切さを、今度は子どもたちにもロボット工作を通して感じて欲しいと願う櫻井さんの挑戦はこれからも続きます。



●上：仕事後や休日に小学校へ工作の補助に向くことが何よりの楽しみ。●左下：大学生の頃(写真左)。没頭していた趣味を通して様々な人と出会い、知見が広がったのどか。人見知りである一方で、好奇心旺盛なのはそのころから変わりません。●右下：市民活動団体のお祭り「市民活動フェスタ」の実行委員としても活躍。「裏方として表舞台を支えることにはやりがいを感じますし、性に合っているのかも」。

profile

- 1968年 三条市生まれ。幼いころからロボット・SFアニメに囲まれて育つ。高校卒業後は地元から出たいという気持ちから、東京の大学へ進学。
- 1980年 大学卒業後は新潟県の企業へ就職。配属に伴い長岡市へ。20～30代は特に市民活動に取り組むこともありませんでした。
- 2009年 共通の友人による紹介で団体の代表に会い、活動に加わる。大会の手伝いから始まり、次第に活動に深く関わるようになり、現在に至る。

活動の根っこ

世界を広げる
第一歩!
櫻井浩一

活動PickUp!

「つながるラジオ」で取材した団体をご紹介します

生の声は「ラジオ」「コライト」で!

特定非営利活動法人長岡産業活性化協会NAZE ナゼ モノづくりで長岡をイノベーション



モノづくりの地域として非常に恵まれている長岡で、「企業と企業」「企業と教育機関」「企業と産業支援機関」を結ぶ役割を果たし、長岡の経済全体の活性化を図ることを目的に設立しました。産学官金の連携による技術力の向上や新技術への挑戦支援、モノづくり人材の育成など様々な事業を展開していきます。また、長岡市が推進する「長岡版イノベーション」にも積極的に参画し、モノづくりで長岡を盛り上げていきたいです。

Heartful music

音楽でまちなかに活気を!

長岡のまちなかを「音楽」で元気にするため、ライブハウスや飲食店などで定期的に音楽イベントなどを運営しています。新しく音楽を始める人はもちろん、ちょっと音楽から遠ざかっている人にも「演奏する場」を作ることで、音楽活動が出来る環境づくりをしています。今後の夢としては、まちなかのお店から音楽が鳴り響き、一昔前のように駅前が人であふれかえるような活気ある音楽フェスをしたいです。



新町みんな食堂

月に1度の夕食会で育む人とのつながり



蔵王地区集会場で、子どもから高齢者までの多世代が集う「新町みんな食堂」。毎月第3金曜日に開かれ50人前後の人が訪れます。この食堂は、「人のつながりを感じてもらいたい」「子どもの貧困や孤食を救済したい」と放課後子ども教室運営委員会や近隣の保育園、NPO法人、福祉機関などが協働運営。寄付食材をボランティアが調理し、100円で一緒に食卓を囲めます。参加者も配膳や片づけを行う、みんなで作る食堂です。

ナカムラコーヒースター-s/地域づくり団体へのスキル提供 「まちのハッピーを増やしたい」
コーヒーショップと市民団体の想いがリンク

与板地域にある「ナカムラコーヒースター-s」は、「ハッピーな時間を過ごしてほしい」とコーヒーの可能性と日々向き合う自家焙煎コーヒーショップです。和島地域で地域づくりに取り組む「樺の森倶楽部」の「地域の拠り所をつくり、おいしいコーヒーで楽しませたい」という想いに応え、コーヒー器具選びや抽出方法をアドバイス。専門家ならではのノウハウを提供することで、コーヒーの香り漂う笑顔の連鎖が広がっています。



みんなの声 / 投稿 随時募集中
「これも協働!」暮らしの中で感じた人とのつながり

投稿者 流れ星さん
近所に住むおばあちゃん、一人暮らしでいつも寂しそうなんです。校区の小学生が雪の間つまらないというのでおばあちゃんを講師に折り紙教室を開いたらものすごく盛り上がりました。つないだ私はなんだかコーディネーター気分。これって協働ですか?

投稿者 いも姉ちゃんさん
近所のあんちゃんにタイヤ交換をお願いしています。お礼に缶ビールを持って行って一緒に飲みます。去年の冬は外したタイヤを間違えてまた付けてしまいました(笑)。みんなで大笑いしました。

投稿方法
投稿フォームを使う
協働センター窓口で投稿する
QRコードから投稿フォームへアクセスしてください。
協働センター窓口を設置されている「みんなの声」コーナーからも投稿できます。

